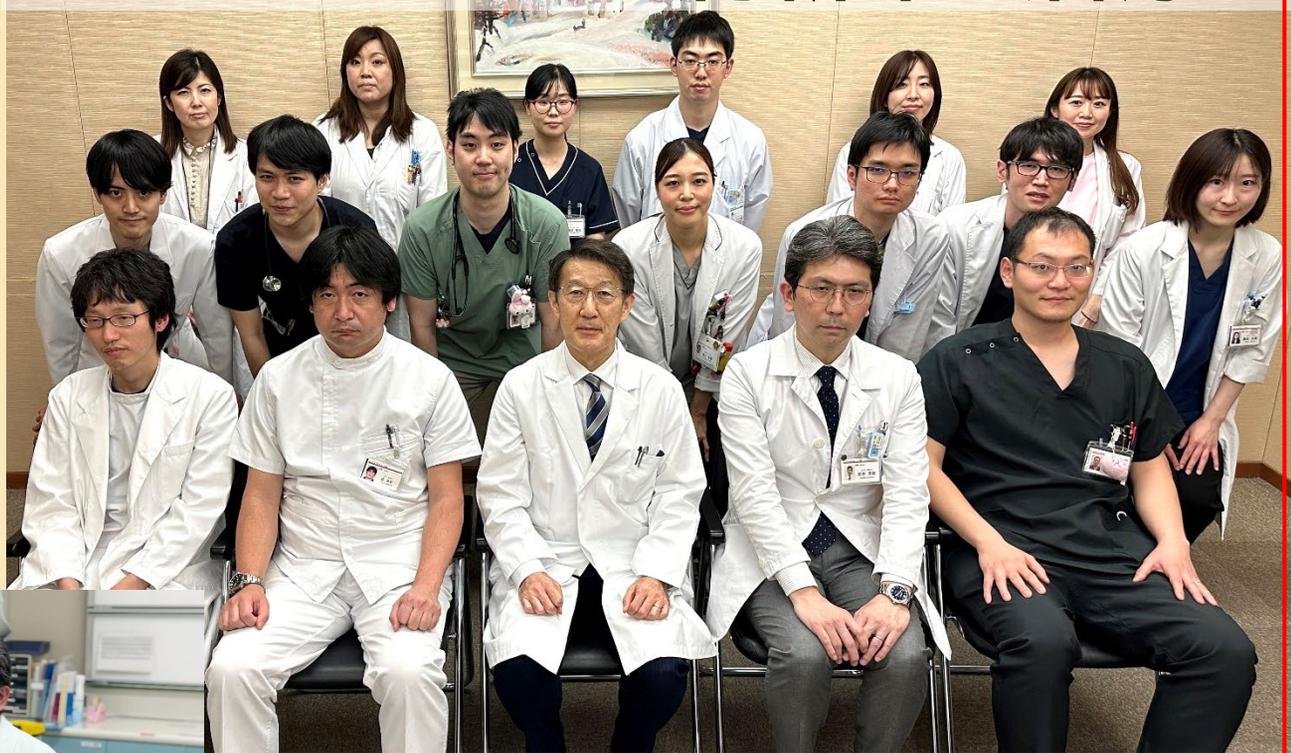


患者総合支援センターたより

【発行】患者支援課 TEL:06-6645-2857

特集 脳神経内科

アルツハイマー病新薬の治療



脳神経内科(令和6年4月撮影)



診察の様子

令和5年12月に発売されたアルツハイマー病の新薬レカネマブは、アルツハイマー病の脳内に蓄積する病因タンパク質(アミロイドβタンパク質)を除去し、認知機能低下の進行を抑制することが示された点滴治療薬です。

早期アルツハイマー病患者さんに使用できる治療薬であり、厚生労働省の「最適使用推進ガイドライン・レカネマブ」に従い、詳細な検査と正確な診断、病状や副作用について患者さんや介護者(家族など)の方の注意深い観察、密な定期通院が必要となります。

脳神経内科では検査から投与、副作用の対応まで適正に実施できるように体制を整えております。

レカネマブ投与対象となる患者さんについて

レカネマブ最適使用推進ガイドラインにより、

軽度認知障害～軽度認知症（MMSE22点以上、CDR 0.5-1）または臨床上アルツハイマー病が強く疑われる場合にアミロイド陽性であると適応となります。

軽度認知障害やごく初期の認知症が疑われる患者さんは適応の可能性がります。

判断に迷われる場合でも、まずは脳神経内科までお気軽にご紹介ください。

大阪公大病院でのレカネマブ投与の流れ

① 初診予約

地域医療連絡室を経由し脳神経内科へご予約いただきます。

② 外来受診（スクリーニング検査）

頭部MRI検査、脳血流SPECT検査、神経心理検査などの検査を行います。

③ アルツハイマー病理の確認

アミロイドPETまたは脳脊髄液検査により、軽度認知障害(MCI)または軽度認知症のレベルに留まっているか確認をします。

④ レカネマブ投与

2週間に1度、約1時間の点滴を行います。



大阪市認知症疾患医療センターとしての役割



当院は平成21年4月から大阪市より認知症疾患医療センターの指定を受けており、保健・医療・福祉の各機関と連携しながら、認知症の鑑別診断や専門医療相談等を実施し、認知症の早期発見、診断を行っています。

また、保険医療関係者等への研修を行うことにより、地域における認知症疾患の保健医療水準の向上を支援しています。

脳神経内科の医師を中心に、認知症看護認定看護師、公認心理士、精神保健福祉士など多職種で連携し活動しています。

ご紹介（外来受診）について

令和6年11月現在

月	火	水	木	金
辻 浩史	三野 俊和	岡本 光佑	伊藤 義彰	武田 景敏
脳神経内科一般 認知症鑑別診断 (初診・午前)	脳神経内科一般 認知症鑑別診断 (初診・午前)	脳神経内科一般 認知症鑑別診断 (初診・午前)	脳神経内科一般 認知症鑑別診断 (初診・午前)	脳神経内科一般 認知症鑑別診断 (初診・午前)
武田 景敏	伊藤 義彰	武田 景敏	青原 健太	辻 浩史
脳神経内科一般 (再診・午前)	脳卒中 脳神経内科一般 (再診・午前)	失語症 (再診・午後)	脳神経内科一般 認知症鑑別診断 (初診・午前)	脳神経内科一般 (再診・午前)
青原 健太	坂口 裕香	長谷川 樹	岡本 光佑	三野 俊和
脳神経内科一般 (再診・午前)	頭痛 多発性硬化症 (再診・午前)	パーキンソン病 (再診・午前)	脳卒中 脳神経内科一般 (再診・午前)	脳神経内科一般 (再診・午後)
	辻 浩史			武田 景敏
	パーキンソン病 (再診・午後)			若年性認知症 (再診・午後)

脳神経内科では、認知症疾患以外にもパーキンソン病外来や脳卒中外来などの専門外来を開設しています。

初診をご希望の患者さんは
地域医療連絡室を経由してご予約
いただくことを推奨しています。

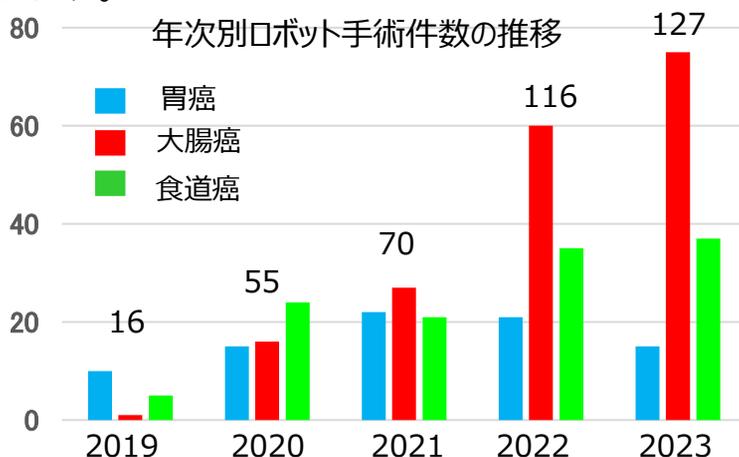
< 地域医療連絡室 >

TEL 06-6645-2877

FAX 06-6646-6215

消化器外科

消化器外科では食道から大腸・肛門に至る消化管の癌や炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）に対し治療を行っています。悪性疾患に対してはロボット支援手術を推進し、手術件数は年々増加しています。当科ではロボット手術プロクター（指導医）が5名、内視鏡手術技術認定医も9名在籍しており、安全で精緻な手術を実施しています。また、切除不能の進行癌に対しても化学療法、放射線療法、免疫療法を含めた集学的治療により治療成績の向上を図っています。今後も近隣の先生方と連携しつつ、患者さまにご満足いただける全人的医療・ケアを提供することを心掛けていきます。



・がんEX外来開設のお知らせ

当科では2024年6月3日から消化器（食道・胃・大腸）がんと診断された患者様の治療を迅速に開始するため、“がんEX外来”を開始しました。診断・治療に必要な検査をできるだけ初診日に行います。1週間後に病状・治療・手術について説明を行い、患者様・ご家族様が納得いただければ通常3週間以内に治療を行います。詳しくは地域医療連絡室までご連絡下さい。TEL 06-6645-2877/FAX 06-6646-6215

がんEX外来

食道がん・胃がん・大腸がんの治療を迅速に 2024. 6.3～

- ・問診
- ・血液検査
- ・心電図
- ・胸部・腹部単純XP
- ・呼吸機能検査
- ・造影CT検査
- ・内視鏡検査

初診

- ・病状説明
- ・治療説明
- ・手術説明
- ・入退院支援センター
- ・受診

1週間後

- ・治療開始
- ・手術/その他の治療

10日～3週間後



がんEX外来

肝胆膵外科

肝胆膵外科では、肝がん、胆道がん、膵がんによって代表される悪性疾患から、神経内分泌腫瘍などの良悪性境界病変、膵・胆管合流異常などの良性疾患に対して、患者さんの状態に応じて最適な外科治療を安全に提供することを目標にしています。

肝胆膵がんは難治性として知られますが、私たちは化学療法や放射線治療などの周術期治療と、血管合併切除・再建にも対応できる手術のテクニックとの相乗効果で、患者さんと共に根治の可能性を追求しています。このような集学的治療では患者さんの負担が大きくなりますが、私たちは看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士（リハビリ）と密に連携し、大きな手術でも患者さんが安心して退院できるように工夫しています。

一方、傷の小さな手術で十分な切除ができる場合は、積極的に腹腔鏡手術、またはダヴィンチを用いたロボット支援手術を用い、患者さんの疼痛低減と早期の回復・社会復帰を目指しています。また、術中蛍光イメージングを駆使して、がんの場所や解剖構造、臓器の血流を正確に評価して手術の安全性向上に役立てています。

2023年度は約130件の肝切除、約110件の膵切除を実施し、低侵襲手術の実施率は肝切除で60%以上、膵切除で40%以上に及んでいます。ロボット支援手術の総数は100例を越えました。本年もより一層、手術成績の向上にチャレンジいたします。



次回予告



★ 診療科紹介（予定） ★ 当院の診療科をご紹介します。

循環器内科

小児外科

Face to Faceの会のご案内

今回は 令和6年11月30日（土）に開催します。

詳細については同封のご案内をご確認ください。

地域医療連絡室

月曜日～金曜日 9:00～19:00

電話：06-6645-2877

FAX：06-6646-6215

URL：https://www.hosp.omu.ac.jp/health_professionals/area/area.html

ご予約方法

『診察予約申込書（診療情報提供書）』をご作成のうえ、FAXにてお申し込みください。

医療連携登録医の方はWeb予約も可能です。

詳しくは、当院の地域医療連絡室のHPをご覧ください。

緊急性や専門医への内容確認の必要性を判断するため、診察予約申込書の「症状経過及び検査結果」記入欄や別添していただく診療情報提供書はできる限り詳しくご記載いただきますようよろしくお願いいたします。また、検査データなどがある場合は、一緒にFAXください。



〒545-8586

大阪府大阪市阿倍野区旭町1-5-7

大阪公立大学医学部附属病院

TEL : 06-6645-2121 (代表)

TEL : 06-6645-2857 (患者支援課)

初診受付時間 : 8 : 45 ~ 10 : 30

休診日 : 土曜日・日曜日・祝日・12/29~1/3

送り先の変更・データでの提供依頼等ございましたらお問い合わせください。